

# 知・技の創造

△8△



大都市東京に隣接する県では、そのアイデア、ティティを見失いがちです。埼玉県の活性化を考える上で大切な要素は、その個性の再発見(アピール)にあると考えます。現在取り組んでいる秩父市の事例を紹介します。

■公共建築の再構成地域の活性化

あき学園共立工芸大学は、千葉県の坂倉研究室にて多く民間建築設計を担当。株式会社大島主宰の建築研究所にて多くの研究室。現在の研究テーマは児童施設に関する研究及び地域計画などを担当している。

大都市東京に隣接する県では、そのアイデア、ティティを見失いがちです。埼玉県の活性化を考える上で大切な要素は、その個性の再発見(アピール)があると考えます。現在取り組んでいる秩父市の事例を紹介します。

■公共建築の再構成地域の活性化

あき学園共立工芸大学は、千葉県の坂倉研究室にて多くの研究室。現在の研究テーマは児童施設に関する研究及び地域計画などを担当している。

市及び秩父市等で公共建築の再構成について調査研究を行っています。

秩父市では、東北地方太平洋地震の影響により、本町通りの沿河地帯に、市役所本庁舎及び市民会館が使用不能と

なり、施設の再構成が急務となりました。分散化された各

施設の実態調査を通して与えられた各

完成予定です。

■秩父市のまちづくり個

性ある地域文化の発掘

経済至上主義による開発計

画ではなく、秩父の文化をア

クセ工事の基本設計及び設計

監修を行っています。秩父神

社と武甲山及び龜の子石を繋

ぐ軸線のデザインがテーマで

す。実施設計と施工は、地元

の工務店等に頼り、秩父

人による地域文化の継承を目

指しています。

■秩父産木材の利活用…産

業による共同事業の実践

…木材の利活用について、各

方面で検討しています。木構

造をデザインのテーマとした

「秩父の風土から生まれたパ

件を整理しながら、施設規模の設定、基本理念及びマスターープランを作成しました。分散化された府舎機能の統合と、隣接する歴史文化伝承館、駅・大型店舗などを中心として、新たな商業エリアをつくることを提案してきました。既存の売店コーナーは、夏の

大島 博明 建設学科 教授

秩父市

の場合

市のおかげでの調査研究し観光促進を両立する計画としていました。文化財である旧秩父駅舎や旧大富学校の有効活用

道路公社「やまなみ街道」10周年を記念して、皆野商工会

の共同事業を行いました。商店や木材関係者等と検討し

造をデザインのテーマとした

「秩父の風土から生まれたパ

ンシブルデザインの家」を提案

してきました。秩父の環境から生まれた木造住宅を地元の工

作をデザインのテーマとした

「秩父の風土から生まれたパ

ンシブルデザインの家」を提案

してきました。秩父の環境から

既存の売店コーナーは、夏の

季節によって、店舗及び

休憩コーナーとは不適切

な環境でした。風の道と田差

を行つてになりました。秩

父祭は秩父のシンボルであ

し対策を考えた「地元の食材

を地元の木でついた空間

で楽しむ場」を学生達と計

画しました。「まちを有機的につなぎ、

秩父の歴史と文化を生かした

文化をもつた」として小指

ししてあります。

新事業として御旅所整備工事

を行つてになりました。秩

父祭は秩父のシンボルであ

し対策を考えた「地元の食材

を地元の木でついた空間

で楽しむ場」を学生達と計

画しました。「まちを有機的につなぎ、

秩父の歴史と文化を生かした

文化をもつた」として小指

ししてあります。

新事業として御旅所整備工事

を行つてになりました。秩

父祭は秩父のシンボルであ

し対策を考えた「地元の食材

を地元の木でついた空間

で楽しむ場」を学生達と計

画しました。「まちを有機的につなぎ、

秩父の歴史と文化を生かした